

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習支援教室POMU				
○保護者評価実施期間	2025/2/1		～		2025/3/1
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)		6
○従業者評価実施期間	2025/2/1		～		2025/2/25
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)		4
○訪問先施設評価実施期間	2025/2/1		～		2025/3/1
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)		6
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/18				

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者のニーズに合わせた訪問ができる。	訪問する前に職員間で、丁寧に情報共有をおこなっている。	お子様や保護者様が気になる事や不安なことを相談して頂けるような場所にしていく。
2	児童指導員、教員、保育士、特別支援教育士等を配置し、多職種で支援を行うことで多角的な視点での評価、支援が提供できる。	支援内容の見直しをいろいろな視点から行うことができる。	今後もスタッフスキル向上のため、内部研修や外部研修に参加することでお子さまの支援につなげていきます。
3	よりよい支援のため、訪問先との関係性を築けるように働きかえることに留意している。	学校園の生活の妨げにならないように、訪問日程の調整を行うように留意している。	継続して、学校園の生活を第一に訪問支援を実施していきます。また担任の先生だけでなく加配の先生などにも訪問支援について知っていただき、お子さまや保護者さまにとって意義のある支援が行えるように努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先と訪問時以外の連絡や情報の共有がより必要。	訪問先の職員との時間調整が難しい。	必要に応じて、次回訪問時までには、課題や配慮が必要と思われる内容について文書で伝えるなど当事業所から積極的に情報共有をおこなっていく。
2	希望があった場合に時間がかかる。	限られた人員のため、希望があった場合に迅速な対応ができないこともある。	保護者の要望と訪問先の職員との事前会議を通して、可能な限り迅速に必要な性を判断し、必要な期間、回数を決定する。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	運動・学習支援教室POMU				公表日	2025年 3 月 18 日	
				利用児童数」			回収数 6
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	50%			50%		必要に応じて訪問先と情報共有を行っています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%					今後も、事業所でゆっくり相談して頂けるような環境を整えていきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					契約時にお話しさせていただいております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					今後も継続して、保護者様のご希望やご要望をお聞きし、決定させていただきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%					今後も継続して、教員免許、保育士の資格を持った職員が訪問支援を行い様々な観点から支援ができるように体制を整えていきます。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					お子さまの普段の様子についてミーティングを行うことで、職員間の理解を深めたり、訪問先での様子について事業所で共有したりすることでお子さまに対して適切な支援ができるように心がけております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					今後も保護者様から日常の様子やご希望をお聞きしたり、学校や事業所での様子を見て、それをもとに個別支援計画書を作成していきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	80%					学校の先生と共有し、お子さまが学校園で過ごしやすいよう、必要な支援を取り入れるようにします。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					今後も訪問支援の具体的な支援を考え計画に取り入れて参ります。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					今後も継続して、支援計画に沿った支援を行い、必要に応じて計画の見直しをおこなっていきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%					訪問先の行事や生活に影響ない時間帯に訪問支援を行ったり会議等の時間を設けたりできるようにしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					契約時にお話しさせていただいております。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					訪問支援計画書を提示し、支援目標や支援方法について説明をさせて頂いております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	50%	17%			3%	必要に応じて検討していきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%					電話やメール等でも保護者さまからのご相談にも応じられるようにし、お子さまについて共通理解ができるように取り組んでおります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					年に2回モニタリングでお話しさせていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					今後もお子さまのお気持ちや保護者様のご希望をお聞きし、支援につなげていきます。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					職員一同、お子様や保護者様に気軽に相談していただけるような関係作りを心掛けていきます。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					お子さまとお話する時には、特性に合わせて対応したりすることで情報共有をおこなえるように配慮させていただいております。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%					毎回の振り返りの時間に訪問先と情報共有を行っています。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%					訪問支援後は必ず振り返りの時間を設け、普段の様子や対応方法について話し合いをおこなっております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%					毎回、支援後には報告書で様子をお伝えしています。ご質問や保護者からのご希望があれば訪問先に伝えて欲しいことなどを聞き取り、次回の訪問支援の際に情報共有を行っております。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					事業所のHPを用いて自己評価アンケートの結果や訪問支援の概要などについてお知らせさせていただいております。
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					個人情報の取扱いには十分に留意しています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	100%					引き続き、事前会議の時に対応について話し合うようにしていきます。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					契約時にお話しさせていただいております。
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%					今後も保護者様やお子さまに訪問への入り方を事前にお聞きしてから、訪問に入らせていただきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%					今後も引き続きよりよい支援ができるようにしていきます。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名
運動・学習支援教室POMU

公表日 2025年 3 月 18 日

利用児童数 10 回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	84%	16%		助言を参考に、声をかけるタイミングや見守りのバランスなど関わりを変えることができました。	訪問先の園や学校に負担なく取り入れて頂ける助言や説明を心がけていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	84%	16%		九九カードなど児童の手助けになるようなツールをたくさん教えて頂いた。	外部研修に参加し、職員の専門性の向上を促進させていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	100%			試してみようと思う具体的なアドバイスをしてもらって心強かった。	訪問先からのご質問に対しては、適切にお答えできるように、職員の専門性の向上を図っていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	84%	16%		時間が取れず、各場所での様子の共有という形になった。 対象児童の困りごとがほとんどなかった。	学校での課題や困りごとが解消または軽減することで、学校生活が少しでの過ごしやすいうように具体的な支援の方法を考えてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%			児童の保護者との関係が良い方向に向かった。 手厚い支援を受けた。	いつもお忙しい中、園や学校の様子をお話していただきありがとうございます。今後も連携していただくことで支援に繋がっていきたくと思います。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者視点から気づきや情報を共有してもらい大変助けになった。 ・ こちらにはわからない保護者の困り感を教えて頂いた。 ・ 対象児童だけでなく全体にも適用できる助言をたくさん頂いた。 ・ お子さまの各場所での共有をさせて頂いた。 					<p>今後とも、お子様にとってよりよい支援となるように、学校や園、ご家庭、事業所で情報を共有していきたいと思ひます。</p>	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	運動・学習支援教室POMU	公表日	2025年 3月 18日
------	---------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ/どちらともいえない	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		支援実施後に必要な場合は、訪問先と相談の上、教材教具の紹介をしています。	継続していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令に基づいた職種、職員数を配置しています。さまざまな視点をもって支援が実施できるように工夫しています。	継続していきます。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		訪問に行っている職員以外にも情報共有を行い、目標設定や今後の支援について話し合いをおこなっています。	継続していきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		半年に1回の面談を行い、保護者の方と情報の共有や今後の方向性について話し合いを行っています。今後の意向についての聞き取りも行うようにしています。	継続していきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員のミーティングの時間を設けることにより、それぞれの意見を把握する機会を作っています。	継続していきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在第三者における外部評価は行っていません。	今後必要に応じて検討していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部の研修等に積極的に参加しています。	引き続き、オンライン研修などの外部研修に積極的に参加していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		行動観察、保護者からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、おさまのニーズや課題を分析して支援計画書を作成するようにしています。	継続していきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		学校での様子をその都度ミーティングで職員全員に共有し、おさまの特性に対しての関わり方や支援方法を検討しています。	継続していきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		事前に、先生方よりおさまの集団生活での様子についてお聞きしながら意見を取り入れていくようにしています。	継続していきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援に関わるスタッフで支援計画について共有し、支援員の意見を反映させています。	継続していきます。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日ごろのおさまの様子の観察、保護者からの情報などを総合した上で、おさまの状況についてアセスメントを行っています。	継続していきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの変更点等はその都度事業所内で確認をしています。	職員全体で共有していきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎回訪問支援担当者から内容を情報共有することで、支援計画に沿った支援が行われているかの確認を行っています。	継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援に複数の訪問支援員が行くことはないが、連携できる環境にあります。	引き続き、連携できる環境にしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りを行い、支援内容について共有をしています。	継続していきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の理念や意向、先生の思いなどを尊重して支援を行うように心掛けています。	継続していきます。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		報告書を作成し、保護者や訪問先施設に確認していただき、共有するようにしています。	継続していきます。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者様と相談し、おさまにとってよりよい支援になるように計画の見直しを適宜行っています。	継続していきます。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。					

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	関係機関からの了承を取れば、関係機関と連携し、本人の様子や療育の内容について情報共有を行う支援を行っています。	継続していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者さまに同意を得た上で、必要であれば、ご本人のこれまでの様子や療育内容についての情報共有を行っています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	外部の研修には積極的に参加しています。	引き続き、外部研修には積極的に参加していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	現在参加できていません。	必要に応じて検討していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	報告書やメール等を通して情報共有を行っています。	継続していきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアレントトレーニングは現在行っていません。	必要に応じて検討していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に保護者に説明しています。	継続していきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	支援開始前に訪問支援の趣旨や目的について共通理解を持っていただけるようにしています。	継続していきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	事前にお子さまや保護者のニーズについて聞き取る機会を設け、支援計画書を作成しています。	継続していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になることなどについて、保護者の方と情報共有しています。	継続していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	報告書やメール等でできるだけお子さまの様子を丁寧に伝えるように心がけ、悩み等の相談に応じることができるような体制にしています。	日頃から子育ての悩みに対する相談等しやすい関係作りに努めて参ります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	現在、父母会の活動や保護者会等行っていません。	保護者の要望があれば必要に応じて検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	契約時に苦情相談の担当者や事業所以外の窓口について説明しています。	継続していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	通信等は発行していませんが、事業の概要についてはホームページに掲載しています。	継続していきます。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報が記載しているものに関しては保管場所の取り決めに徹底しています。	継続していきます。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	必要に応じてメールやお電話でのお問い合わせを受け付けています。	継続していきます。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	必要があれば実際の教材などを提示したり、助言等ができる体制を整えています。	継続していきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	支援実施後に話し合いを行っています。	継続していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	支援実施後に報告を行っています。	継続していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	訪問先には名前などの個人情報が記載されたものを持ち出さないように留意しています。	継続していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	訪問先の先生方と気になることや困りごとを共有し、寄り添いながら支援方法を考えるようにしています。	引き続き、訪問先の先生方に寄り添いながら実行可能な支援方法を考えていきます。
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	安全計画通り定期的に訓練しています。	継続していきます。	

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画通り定期的に訓練しています。	継続していきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度管理者に報告するとともに職員会議で共有しています。	継続していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っています。	継続していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在身体拘束は行っていませんが、指針やマニュアルを整備し、定期的に研修や見直しを行っています。	継続していきます。